203号室の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	203号室の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	203号室を読んだことのある20代～50代の男女42名
調査期間	2025年6月13日～2025年6月14日 2025年6月30日 2025年7月30日 2025年8月30日 2025年9月30日 2025年10月30日 2025年11月30日 2025年12月30日 2026年1月14日 2026年1月30日 2026年3月1日 2026年4月1日 2026年5月1日 2026年6月1日 2026年7月1日 2026年8月1日 2026年9月1日 2026年10月1日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/203goushitu/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：203号室を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

20代男性	2人
20代女性	2人

30代男性	29人
30代女性	0人
40代男性	4人
40代女性	4人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2：203号室の感想を教えて下さい。

『203号室』1話	怖すぎる内容でした。途中から違和感を覚えてはいたんです。ゴミの日を教えてくれる等で。これって一見親切そうに見えますけど、裏を返せば金井さんのゴミまでチェックしているっていうことにつながりますから。それが決定的だと感じたのは金井さんのバイト先に高梨さんが現れた時でした。そして最後の展開は、ああやっぱりって感じでしたね。金井さんもとんでもないところへ引っ越してしまったなと感じました。
『203号室』1話	主人公は二浪するもやっと大学に進学できて、嬉しすぎて部屋の中で大声を出しながら喜ぶ所が面白かったです。騒音に怒鳴られながらも、隣に住んでいる人達にちゃんと手土産を持って挨拶をする所が真面目だなと思いました。高梨は様子がおかしいけど、ちゃんとゴミの出し方を教えてあげたり、料理の残りを主人公にあげたりする所が優しいと思いました。
『203号室』1話	主人公はいい人。いい人って、誉め言葉でもありそうじゃないってこともあるんですよね。誰にでもいい顔をしていると、こんな厄介ごとを招くこともあるんですよね。作りすぎた肉じゃがを喜んでくれる隣人。それって確かにきゅんと来ちゃいますよね。そして隣人である以上は変なもめ事を起こしたくはないから文句を言えないのもわかる。でも自分が嫌だと思う境界線を越えられたら、びしっと言える強さも必要だと思う。いい人だからちょっとしたきっかけから執着が始まってしまった。
『203号室』1話	ヤングジャンプで連載されていた漫画の火星のやばい生物を彷彿させるビジュアルに早くもワクワクが止まりませんでした。実際に読んでみても、すごく独特な雰囲気です。首が妙に長いのが気持ち悪いし、あえて不快に感じるように描かれているなと驚きました。ラーメン屋に現れたときは首無し可と思いましたよ。
『203号室』2話	1話で早々に高梨さんから「蓮に近付く排除すべき女」認定されたらしい真帆さんが、まさかの2話冒頭で埋められてしまっていて、展開の速さに驚かされました。また、気難しそうな城さんがわざわざ蓮に忠告してくれたあたり、高梨さんの言動に不穏なものを感じているだけではなく、たとえば蓮の前に202号室に住んでいた住人も高梨さんからストーカーされていたのかもしれないと思いました。
『203号室』2話	気になっている相手がなんだかほかの女の子と仲良さそう。それで嫉妬してしまう気持ちはわかります。でもそこから恐ろしいのがそういった相手を次々と排除していこうといった考え方。なんともやっかいな相手に魅入られてしまったものです。そして、いい人だしごく普通の大学生である主人公はいろんな女の子と仲良くなっていく。怖すぎる。
『203号室』2話	第一話以上にミステリアスが詰まった内容で、初回の謎に徐々に光が当たり、徐々に引き込まれる展開です。 表情、仕草から何を考えているのかと興味を惹かれます。なぜ203号室にいるのか、ここは現実なのか幻かといった考察が続き、ページをめくる手が止まりませんでした。無音の部屋で一人考える姿に感情移入していく感覚があります。
『203号室』3話	高梨は、主人公と彼女が学園祭で楽しそうにしている様子を見て、歯を食いしばりながら嫉妬している姿にゾッとしてしまいました。手当り次第とはいえ、サドルに傷をつけられて酷い言葉を書

	かれてしまう彼女が可哀想でしたが、優しく話を聞いて心配する主人公が優しいと思いました。高梨の部屋の前で謎の行動をしている城が気になって仕方ありませんでしたが、理由を教えてくれない所が意外でした。
『203号室』3話	高梨の暴走がどんどん加速していって、でもまさか彼女がなんて思わないから気を付けるようにと注意を促す主人公。そんなの火に油を注ぐ行為ですよ。天の目として見ているこちらとしてはハラハラドキドキです。早くわかってほしい。そしてさくらを守ってあげてほしい。なんでこんな風になるのか、高梨の過去が知りたくなりました。
『203号室』3話	主人公、蓮が通う大学の同じ農学部で、可愛い女性さくらと仲良くなる蓮でしたが、高梨がそれを許すはずがありません。案の定、さくらの自転車のサドルは刃物で切り裂かれ、裂かれた傷の脇にはコロスの文字が。帰宅後、自宅の鍵が空いていることに気づいた蓮は、隣人の城を怪しむ。それをあろうことか高梨にも忠告してしまい、勘違いした高梨の蓮への歪んだ愛情はエスカレートしていきます。蓮の歯ブラシがなくなっていたり、スタンダードながら怖い演出も見どころです。
『203号室』4話	メッセージの件数がやばすぎます。ハートマークとかラブラブという文字が非常に気持ち悪いです。家の中にどうやって入ったのかはわかりませんが、小島の身が危なくなりそうでヒヤヒヤします。
『203号室』4話	小島は金井に好意があるのでしょうか。ただの友達だとするなら絶対に一旦距離を置いたほうがよいと思いますが。とはいってもすでに高梨にロックオンされてしまいましたので、いつ包丁を持って追いかけられることになるのかですね。個人的にはもっと先になりそうな気がします。
『203号室』5話	とりあえず、特に何事もなく終わって安心ですね。小島ちゃんはこの一件で、金井と距離を置くことにしましたが良い判断ですね。ただ一言、金井に釘を差しておいたほうが良かったかも。このまま高梨のもとに金井が行けば、また高梨が小島のことを邪魔者と認識して襲うことになりそうです。
『203号室』5話	小島は金井と関係を切ろうとしていますが、金井も金井でしつこいですね。金井は高梨の性格をよく知っているでしょうし、このまま自分が小島に気があったり、気を使っているような姿を見せれば、高梨が怒り狂うことに気づきそうなものですが。まぁそれに気付けないからこそ、高梨に執着されて、ややこしい事態になってるんですけど。高梨に関わった金井も可愛そうだけど、それ以上に金井に関わった小島も可愛そう。
『203号室』6話	1話で亡くなった真帆ですが、6話でとうとう遺体が発見されました。これにより、警察も事件にかかわってくるのではないかと思います。これまで証拠不十分で捕まらなかった高梨ですが、そろそろ警察も気づくのでは？城が監視しているようですし、どんどん高梨を追い詰めていそうではあります。
『203号室』6話	小島はもうしばらく引きこもっていたほうがいいですね。というか親は何をしているのでしょうか。弟がいち早く気づくとか、小島はもっと家族にも相談したほうがいいでしょ。引きこもりになっているのでさすがに家族も気づくと思いますし、弟が話していそうですが。
『203号室』7話	いやいや、さくらちゃんならともかく、高梨のサービスショットはいらないですよ。ノリノリの顔とか、わざわざ大きいコマで描いているところに思わず笑ってしまいました。こうなったらその先まで見てみたいかも。
『203号室』7話	ひき肉とか、なんだか昔見た映画を思い出します。ひき肉を冷凍保存していたとのことですが、あれってなんの肉なんでしょうね。過去に高梨に関わった人なのか、城の関係者だったりして。確かにひき肉を食べることで1つにはなれますが、1日経ったら排泄されるんですけどね。
『203号室』8話	高梨が強すぎて、警察が弱すぎます。なんのために二人で行動しているのか。たしかに、凶器を持った相手には、どれだけ屈強な男性でも危険だという話がありますが、それにしてもあっさりやられすぎです。最初の一人は不意をつかれたので仕方がありませんが、二人目はもっと取り押さえるなりできるでしょう。
『203号室』8話	どんどん高梨がやばくなっていきますね。捕まえた警察をバラバラにしてしまうとかやばすぎます。そろそろ1話の話がでてきそうですし、小島が金井をなんとか助けて、そのまま逃げ出すのかもしれません。そこからどう助かるかは検討がつきませんが、あんな化物みたいなおばさんがナ

	イフを持って走っていたら、誰かが警察に連絡しそうなものです。
『203号室』9話	なかなかやばい状況になってきましたね。高梨の手には依然としてナイフがありますし、警察官をバラバラにした手際を見る限り、ナイフの使い方も上手そうです。城や金井といった一般人が、ナイフをもった高梨に勝てるとは思えませんし、誰かしら被害に遭いそう。城には死んでほしくないですね。
『203号室』9話	明らかに事件なんだから、どんな手を使ってでも警察を呼んだらいいのにと思いました。ナイフをもった不審者がいるとか、電話じゃなくて直接言いに行けば、ついてきてくれそうですけどね。城はまだしも、サクラが一人でいっても役に立たないでしょう。
『203号室』10話	この漫画の唯一の癒やし枠である城さんが亡くなってしまうのは悲しすぎます。なんとか生き残っていてほしい。とはいえ、ナイフで刺されて耳をかじり取られてますから、相当やばい状況です。最後の銃声が誰に向けて撃たれたものなのかも気になります。このあと高梨が追いかけてくるでしょうが、城は無事であってほしい。
『203号室』10話	撃っちまえ。もうそれしか思いませんでした。日本の法律だと正当防衛になるのかな。これだけ犯罪を犯しているし、証言できる人もいるのですから、撃っても問題なかったのではないでしょうか。最後のシーンで、城を引きずってでてくる高梨が目に浮かびます。城が可愛そうです。
『203号室』11話	まさか火を付けるとは思いませんでしたが、とにかく城が無事で良かったです。燃えながら笑うとかやばすぎです。しかもその状態でまだ生きていそうなのが更にやばい。あの描写から見るに、昔は良い母親だったんでしょうか。高梨の過去が気になってきました。
『203号室』11話	城がやられてしまうと思いましたが、なんと城が高梨を撃っていたとは。足じゃなかったら仕留めれていたんでしょうけどね。そうなっていたら、城は警察に捕まっていたかもしれませんし、これで良かったのでしょうか。ようやく警察が駆けつけたと思いきや時すでに遅し。警察の調査で何かわかるといいですね。
『203号室』12話	これまでの話で高梨が指名手配になりましたが、城の言う通り、これは絶対に捕まらないですね。それにしても、高梨本人はでてきていないのに、金井や城、さくらを今もなお苦しめているなんて、高梨の影響力がやばすぎます。こんなトラウマ抱えていたら、なかなか元に戻るのは難しいでしょうね。
『203号室』12話	11話で高梨の母子手帳がでてきましたし、12話で昔のまだきれいな頃の写真もでてきました。高梨がおかしくなってしまったのがいつ頃なのかも気になりますね。話も一旦一段落しましたし、高梨の昔の話が少し読んでみたいかもしれません。
『203号室』13話	新しく、新正一という警部補が登場しました。やる気のない男性に見えますが、それは高梨の事件があったからなのかもしれませんね。城とどんな関係だったのかも気になります。あの話し方からすると、友人くらい親しかったのかもしれません。もしかしたら、城も警察の関係者だったのかもしれませんね。高梨の事件があり、城は警察を辞めて、個人的に高梨を追っていた、ということも考えられます。
『203号室』13話	幻覚なんですけど、高梨が登場するたびに読んでいるこちらまでドキッとしてしまいますね。このトラウマはなかなか克服できそうになさそうです。それこそ、高梨のことが完全に片付くまでは無理でしょう。さくらが、克服しようと決意した表情も、それを優しく見守る城の表情も好きです。
『203号室』14話	数話登場していなかった高梨ですが、姿は現していないものの、近くで今も生きていることはわかりましたね。金井の部屋に忍び込んでいるということは、もしかしたらずっと近くにいたのかも。ずっと金井の部屋で様子を伺っていたとかだと、より怖いです。
『203号室』14話	今回の話はいろんな謎がありましたね。高梨がなぜ出産したときに目が虚ろだったのか、さくらの母親がさくらに何を言おうとしたのか、蓮の部屋にいつ高梨が来たのかなど、気になることが多いです。高梨は出産の時点でおかしかったのでしょうか。息子がいなくなったことが原因でおかしくなったのかと思ったのですが、そうではない可能性もありそうです。さくらの母親は引っ越しすることを考えているのか、もしくは蓮とは関わらないように言ったのかもしれませんね。
『203号室』15話	これまであまり金井のことを好きになれなかったんですけど、ようやく主人公感が出てきたなって思えて、少し好印象になりました。見た目は普通のおとなしそうな男性って感じなのは変わらない

	んですが、表情が違うだけで随分と印象が変わるものです。最初の頃と比べて、二人の強力な協力者がいますし、これは展開が楽しみです。
『203号室』15話	最初はぶっきらぼうで何を考えているのかわからない城でしたが、今はかなり丸くなりましたね。物語が始まったばかりは、むしろ高梨側の人間だと思っていましたから。今は我が子のように金井に接していますよね。本当に、城さんがいなかったらここまで来れなかったですよ。金井もそうですが、城もいい表情をするようになりましたね。
『203号室』16話	過去の姿を知るとは言え、高梨は殺人鬼、それも非常にたちの悪い凶悪な人物です。過去に何があったとしてもそれは変わりません。性善説だなんだとほざく医者には心底腹が立ちますね。城が怒るのも無理はないでしょう。金井も最初の決意の顔はどうしたの？また最初みたいな頼りない顔になってますよ。
『203号室』16話	編み物をしているときの高梨はあんなに優しい表情をしていたのに、何が高梨を変えたんでしょうね。ただ、過去に園長に嫉妬して、周りに攻撃的になっているところを見る限り、嫉妬が理由だと思うんですけどね。これまでもそうでしたし。ということは、息子に何かがあったとしか思えません。成長した息子が誰かに取られてしまったからなのか、高梨の息子が物語の鍵となりそうです。
『203号室』17話	バイト先の女性が被害に遭っていたものの、より親しい人が高梨の被害に遭いましたね。ここから一気に高梨と接触することになりそうです。ただ、これで金井の味方になってくれていた人は、もう警部補のおじさんしかいなくなりました。姑息な高梨を、どう陥れるのかが楽しみですね。
『203号室』17話	個人的に、城さんが一番好きなキャラクターなので、この展開はすごく悲しいです。むしろ他に好きなキャラクターがいないので、城さんがいなくなったらもう読めないかもしれません。まだ亡くなったとは限らないですが、あの感じは助からないかもしれません。
『203号室』18話	絶対に命を落としていたと思っていたので、城がとりあえず一命をとりとめたと見てホッとしました。ただ、瀕死の状況であることに違いはないんですよね。なんだか、最後の最後に、金井を助けるために命を投げ出してくれそうな気がするんですよね。
『203号室』18話	最後に出てきた自称高梨ですが、懸賞金目的で現れたということは、高梨本人を偽っていることはないでしょう。そうなると、高梨の息子である可能性がかなり高いですね。高梨に対してどんな気持ちなのか、どんな関係性なのかガキになります。
『203号室』19話	そろそろ物語も終盤に差し掛かってきたように思えます。ただ、このままいくと、あと数話ほどで終わってしまいそうなんですよね。とはいえ、高梨の息子が登場していないのが気がかりです。どこで何をしているのか、どんな関わり方をしてくるのかが気になります。
『203号室』19話	もう高梨の居場所を特定できましたし、物語的にもそろそろ終わりそうな感じはします。ただ、結構人気の漫画ですし、このまま第2章に続く、みたいな展開になるんじゃないかなって考えてます。第2章の主人公は高梨の息子とか。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス